

# 平野せせらぎの里周辺で観察された生き物の記録 コースNo.0

協 力：地球館パートナーシップクラブ

種名とともに、状態を表す記号を付記した。

1: 葉、卵 2: 花、幼虫、幼鳥 3: 果実、蛹 4: 実生、成虫、成鳥 0: その他 植: 植栽

※植栽樹木は位置の目安として、または花や果実がついている場合のみ記録した。

植物の種名はつけた順に、また、動物は植物の後に、種名の前に・印をつけて記載した。

※2分の1地域メッシュコード(総務省)で分割し、そのコード番号の下に記載したNo.

は旧「みどりと生き物会議」で使用した大阪市域500mメッシュナンバーである。

ほぼ全域でみられた野草: ウラジロチチコグサ、エノコログサ、オッタチカタバミ、セイトカアワダチソウ、ヒメオドリコソウ、ヘクソカズラ、ムラサキカタバミ、ヨモギ

日 時: 2017年11月26日 10:10~16:00 天候: 曇りのち小雨

調査者: 北川ちえこ 忍喜博 中谷憲一 柘元慶子 松川欣二 一般参加者: 0名

事務局: 柳沼宣裕 場 所: エリア・マップNo.1~5

コメント: 初めて訪れた圓徳寺には大阪市の保存樹が5本も残り感激しました。寺の住職は、顕如上人の由来をもたれた方というの驚きで、500年の歴史を持つ由緒あるお寺にでした。少し早く来た忍さんが、白壁の古い町並みを見つけ、面白そうなので配水場へ行く前に寄り道したのがヒットでした。大樹のイチョウの下にはギンナンが沢山落ちていました。整然としているのに野草も残り、お寺には珍しく自然を感じました。

